



よこやまこういちろう  
**横山紘一郎** 議員  
(政経会)

**学校給食の地産地消の推進**

**横山** 学校給食での地産地消の推進は、新鮮で安全な食材の確保はもちろん、地域の自然や農業、食文化の理解といった大事な取り組みである。当局の考えは。

**教育部長** 安全安心な食材を使用した給食を提供できることや、児童生徒が自然・食文化等に理解を深め、地場産業の生産・流通過程を知り、食べ物への感謝を育むことで教育的効果が期待される。

**横山** 当市の酪農は、県内で生産される50%の出荷量である。給食の牛乳は他市産の牛乳だが、富士宮産の牛乳を期待する子どもたちもいるはず。その実現は。

**産業振興部長** 市内に牛乳プラントがなく、袋井・丹那・愛知県に輸送され丹那牛乳として給食センターに届き、利用。朝霧の牛乳も入りながら、富士宮市の牛乳と言えないのがつらいところである。

**市長** 市内にプラント工場を建設する希望があり、富士宮産牛乳と名前の入ったパック牛乳ができるなら、市としても国・県へ補助金

を申請し、懸命に応援したい。

**耕作放棄地対策と今後の見通しについて**

**横山** 規模拡大を目指す新規就農者に農地を貸与し、再生する国家事業として、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金事業、また農地中間管理機構が創設された。その運用と実施は。

**産業振興部長** 比較的若い農業者の多い杉田地区をモデル地区と定め、説明会を行い、担い手を公募し、荒れ地の茶畑から普通畑に再生された。27年度から耕作放棄地再生利用事業の活用と農地中間管理事業による賃借について説明し、今後推進を図っていく。



▲再生された農地（杉田地先）



さのかずひこ  
**佐野和彦** 議員  
(富岳会)

**選挙の反省と、投票率向上について**

**佐野** 候補者ポスター掲示板の費用と、それがもたらす効果はどの程度見込んでいるか。

**選管事務局長** 今回、掲示板の作成・設置・撤去まで含めて、合計813万8,823円かかった。掲示板は公職選挙法と条例により、政令で定める基準で、市民の見やすい場所に設置することになっている。今回の市議会議員・市長選挙では275カ所設置し、有権者に対して立候補者の周知が十分できたものと認識している。

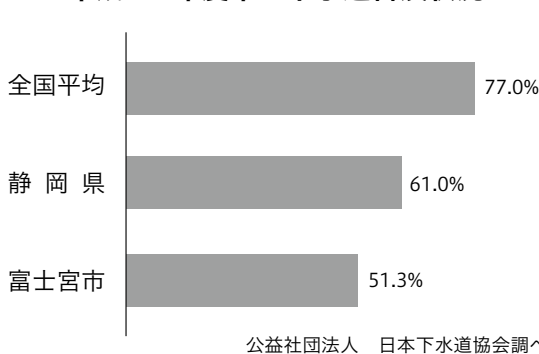
**公共下水道と合併浄化槽の進み具合について**

**佐野** 下水道計画区域と計画区域外の将来展望について。

**水道部長** 現在、当市の生活排水処理は、一般廃棄物処理基本計画（平成23年から平成33年）に沿って行われ、生活排水処理率72.5%を目標値と定めている。26年7月に国で新下水道ビジョンが策定され、下水道は作る時代からよ

く使う時代、より高機能な施設に再構築する時代へ進むとされ、当市では、早急にアクションプランを作成し、おおむね10年で整備完成に力を注いでいく。

**平成 25 年度末 下水道普及状況**



**富士市・富士宮市消防指令センターについて**

**佐野** 消防指令センター開始後の出動メリットについて。

**消防長** 両市が情報を共有できることで広域的な消防部隊の運用が可能となるため、大規模災害に柔軟に対応できる。また、市境の効果的な消防部隊の運用が可能となるよう、現在、富士市・富士宮市消防応援協定の見直しを行い、出動体制の協議をしている。